

平成25年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	14. 国際理解促進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額			5年間計画額		
臨時	単独	計画	2,965	△1,163	実施計画	第6章	「ともに生き、支え合うまちづくり」～市民とともに地域の絆をそだてる行政運営～	平成23年度	1,820
						基本施策6	国際化推進のまちにします	平成24年度	3,888
								平成25年度	1,820
						施策2	国際理解促進のための事業を支援します	平成26年度	2,000
							平成27年度	1,820	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		1,802
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								1,802
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・佐倉日蘭協会の活動支援</p>	<p>(事業の目的) ・佐倉日蘭協会を支援することにより、市民による国際交流の推進を目的としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉・オランダ児童交流により、市民や子どもたちが直接オランダの人々と触れ合うことを目的としています。 ・オランダや蘭学に関する各種事業により、佐倉とゆかりのあるオランダについての市民の関心や理解を深めることを目的としています。 	<p>(事業の効果) ・市民による交流を推進することにより、行政にはできないきめ細かい対応や、人と人の深いつながりが生まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダの人々と直接交流する体験により、市民や子どもたちのコミュニケーション力や多様性を受け入れる力が育ちます。 ・オランダや日蘭交流の歴史をひとつの例として理解を深めることにより、佐倉ならではの方法で、国際化を推進する環境をつくります。
<p>(事業実施上の問題点) ・佐倉日蘭協会の中心事業である児童交流事業にかかる経費が大きく、事業の継続が困難になりつつある。その内容や、他の事業に関しても、行き詰まりが見え、協会自体の会員数減少・高齢化等の問題もかかえています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・協会設立25周年であった前年に記念事業や協会の運営や事業について全面的に見直しをおこない、現在はさまざまな改善の途中にあります。主要事業である児童交流についても事業を継続しながら、課題を検討していきます。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 児童交流事業の費用は、円とユーロの換算レートの変動、燃料サーチャージの変動等、不確定な要素があります。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
19	1,802	1,735	67

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	1,802		2,965